

令和 4 年度 学校評価 自己評価 (1 学期)

1 学校の重点目標

○ 基礎的・基本的内容の確実な定着と「思考力・判断力・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」の育成
○ 豊かな心を育む「心の教育」の充実（「あいさつ・ハイ・はきもの」の徹底）
○ たくましい心と体を育む保健・体育・食育指導の充実
○ 安全で潤いのある環境づくり
○ 特色ある開かれた学校の創造
○ 充実した教育活動に取り組むための業務改善への取組

2 課題と改善策

	評価項目	職員	評価結果と改善方策
学校経営	1 学校教育目標の明文化	3.7	・グランドデザインが分かりやすくなった。
	2 教育課程の完全実施	3.3	・行事は計画をもとに進められ反省も集約できた。
	3 学校評価の公表	3.4	・今後、計画的に学校関係者評価を進めていく。
	4 全校体制による業務改善	3.0	・会議の精選・短縮に努める。
	5 1 try による業務改善への意識向上	2.9	・実践が十分でない。職員自身での意識化を図る。
学力向上	1 「確かな学力」を育む授業実践	2.8	・児童の基礎学力向上に向けた徹底指導
	2 「学び合い」を推進した授業づくり	2.8	・学び合いの授業の意識は高まっている。
	3 各学力調査分析を活用した授業改善	2.3	・夏季休業中の分析と授業改善の検討
	4 思考力向上をめざしたノート実践	2.7	・学び合いを進めるためのノートの在り方の検討
	5 ICT 機器の日常的な活用	2.7	・2 学期からの持ち帰りに向けた準備
	6 校内研修の充実と自己研鑽の推進	3.1	・校内研修により新しい試み、意識の変化が見られる。
	7 特別支援教育の視点に立った個別支援	3.1	・教育相談による保護者との連携を図る。
生徒指導	1 人権同和教育、命の教育の充実	3.3	・学校生活全般をとおして意識化を図った。
	2 「あいさつ・ハイ・はきもの」の徹底	2.8	・履き物をそろえる指導を重点的に行う。
	3 読書に親しむ指導の充実	2.9	・休み時間利用の働きかけの手立てを講じる。
	4 いじめ防止対策の徹底	3.6	・チームとして問題に対処できた。
	5 潤いのある教育環境づくり	3.3	・地域人材の活用について更に計画を進める。
	6 児童が主体的に取り組む環境づくり	3.0	・声かけのみであったので、具体的取組を進める。
保健指導	1 健康習慣を身に付けさせる指導の徹底	3.5	・ハンカチを持ち歩く習慣の徹底を図った。
	2 日常的に運動に親しむ態度の育成	3.1	・一部の職員に頼らない全校での一校一運動の推進
	3 感染症拡大防止対策の徹底	3.6	・常時換気を徹底して行うことが出来た。
	4 食を大切にする態度の育成	3.4	・個別の実態に応じた食の指導の見直しを図る。
	5 危険回避能力の育成	3.4	・正しい廊下歩行の意識が高まっている。
学校開放	1 地域人材、地域素材の活用	3.8	・コーディネーターとの連携の推進を図る。
	2 学校を身近に感じてもらう雰囲気作り	3.6	・来校者に対するあいさつは教児共によくできた。
	3 HP 等での学校からの情報発信	3.5	・学校HPの発信が充実していた。

3 次学期に向けての取組

- 本年度の研修テーマである「学び合い」の学習については、一学期の成果を実践し検証を通して児童に学び合いの学習の意識を高めさせると共に、学び合いを中心に据えた授業の在り方を見いだしていけるようにする。
- 読書指導に課題が残った。児童が学校でも家庭でも本が身近にある環境づくりができるよう、校内での過ごし方を工夫したり、家庭と連携を図って「家読」が定着させたりできるよう指導を行っていく。